

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会が「福祉活動の充実」、ホームが「地域交流の充実」と、双方の思いが一致している。ホーム行事の夏祭りには、町内の全組へ「夏祭り案内」を回覧板で廻し、町内の子供が沢山参加した。来年は町内会で寄付を集めるとの協力の申し出があった。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議のメンバーは、市役所担当・介護相談員・包括センター・地区総代・民生委員・利用者2名・家族2名・管理者で構成され、2ヶ月に一度年6回確実に開催され、延べ出席率は9割を超えている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	岡崎市グループホーム小部会に加入し、会議等の機会に市の担当者話し合いの場が設けてあり、市の担当者とは相談できる関係にある。又、毎月訪れる介護相談員2名によりホームの情報は市へ伝えられている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族の意見を引き出すとの取組みは手厚く、年間、家族会2回・家族交流会（イベント）4回が開催されている。又運営推進会議にも家族の方が2名必ず出席し活発な発言をしている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町内会活動の目標『福祉活動の充実』とホームの目標『地域交流の充実』が旨く噛み合い、運営推進会議で活発な意見交換がなされ「地域」、「利用者」、「家族」、「ホーム」の関係が旨く構築されてきている。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。